



No. 1 しぜんのかんさつ	名前	組 番	/10問
----------------	----	-----	------

1 かんさつした生きものについて、次のく () の中からそれぞれえらんで書きましょう。

〈 ハルジオン ・ タンポポ ・ ナナホシテントウ ・ ダンゴムシ 〉

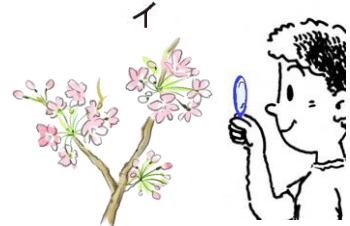
- 1 花は黄色で、葉はぎざぎざしていた。 (①)
- 2 花はピンク色で、高さは30～80cmであった。 (②)
- 3 からだは赤色で、黒いもようが7つあった。 (③)
- 4 からだははい色で、さわると丸くなった。 (④)

2 虫めがねの使い方について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 右の図の**ア**のように、手に持ったものを見るときは、虫めがねを (⑤) に近づけておき、 (⑥) を動かして、はっきりと見えるところで止める。



- 2 右の図の**イ**のように、動かさないものを見るときは、虫めがねを (⑦) に近づけておき、 (⑧) を動かして、はっきりと見えるところで止める。



- 3 目をいためるので、ぜったいに虫めがねで (⑨) を見てはいけない。

3 記ろくのしかたについて、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

記ろくをするとき、右の図の**ウ**の部分にかならず書かなくてはいけないのは、調べたときの (⑩) です。

シロツメクサ

ウ	(はれ) 野ロ和男
----------	-----------

白い花

場 所	校門のわき
色	花は白色
形	葉は丸い
大きさ	高さ15cm
日あたりのよいところ	

生きものは、それぞれ色、形、大きさ、すんでいる場所がちがうね。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉 1 ① タンポポ ② ハルジオン ③ ナナホシテントウ ④ ダンゴムシ
 2 ⑤ 目 ⑥ 見るもの ⑦ 目 ⑧ 虫めがね ⑨ 太陽
 3 ⑩ 月日



No. 2 植物を育てよう (1)	名前	組 番	/10 問
-------------------	----	-----	-------

1 たねのまき方について、次の〔 〕のうち正しいものを○でかこみましょう。

- 1 ホウセンカのたねは、右の図の〔① ア・イ〕です。
- 2 たねをまく前に、土をほりおこして、〔② 水・ひりょう〕を入れておく。
- 3 ホウセンカのたねのまき方で正しいのは、右の図の〔③ ウ・エ〕です。
- 4 たねをまいた後、土がかわかないように、〔④ 水・ひりょう〕をかける。

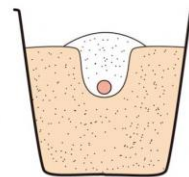
ア



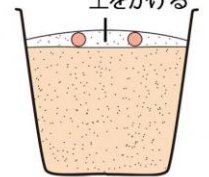
イ



ウ



エ



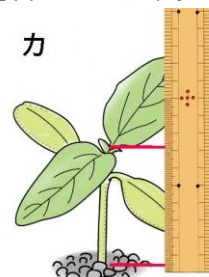
2 ヒマワリのめが出た様子について、次の()に当てはまる言葉や数を書きましょう。

- 1 右の図のオで、さいしょに出てきた葉は、(⑤)といひます。
- 2 さいしょに出てきた葉の数は、(⑥)まいです。
- 3 右の図のカで、調べているのは、植物の(⑦)です。

オ



カ



3 ホウセンカとヒマワリの育ち方について、下の〔 〕のうち正しいものを○でかこみましょう。

ホウセンカとヒマワリの育ち方をくらべました。

- ・たねの大きさは、〔⑧ 同じです・ちがいます〕。
- ・さいしょに出てきた葉の数は、〔⑨ 同じです・ちがいます〕。
- ・さいしょに出てきた葉の形は、〔⑩ 同じです・ちがいます〕。

ホウセンカとヒマワリの育ち方をくらべると、同じところと、ちがうところがあるね。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉
- 1 ① イ ② ひりょう ③ エ ④ 水
 - 2 ⑤ 子葉 ⑥ 2 ⑦ 高さ(せの高さ)
 - 3 ⑧ ちがいます ⑨ 同じです ⑩ ちがいます



No. 3 植物を育てよう (2)	名前	組 番 /10 問
-------------------	----	-----------

1 1 ホウセンカのう植えかえについて、次の〔 〕

のうち正しいものを○でかこみましょう。

- 1 植えかえに一番よいころは、右の図の〔① ア・イ〕です。
- 2 植えかえた後、土がかわかないように〔② 水・ひりょう〕をやる。

ア めが出た

イ 葉が6~8まいになった



2 2 ヒマワリのそだ育つようす様子について、下の〔 〕に当てはまることば言葉を書きましょう。

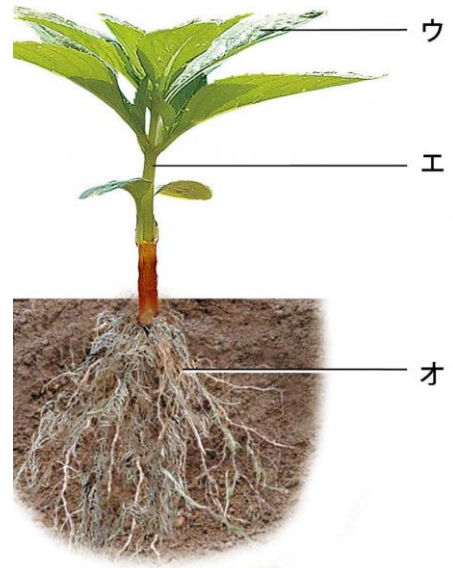
6月の様子を、5月のときとくらべた。

- ・葉の数は、〔③ 〕。
- ・葉の大きさは、〔④ 〕。
- ・植物のしよくぶつせの高さは、〔⑤ 〕。

3 3 ホウセンカのからだのつくりのつくりについて、次の〔 〕

に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 右の図のウの部分〔⑥ 〕と
いいます。
- 2 右の図のエの部分〔⑦ 〕と
いいます。
- 3 右の図のオの部分〔⑧ 〕と
いいます。
- 4 土の中にある部分〔⑨ 〕と
いいます。
- 5 葉がついている部分〔⑩ 〕と
いいます。



どの植物も、からだのつくりは同じだね。



.....キリトリ.....

〈答え〉 1 ① イ ② 水

2 ③ 多くなった(ふえた) ④ 大きくなった ⑤ 高くなった

3 ⑥ 葉 ⑦ くき ⑧ 根 ⑨ 根 ⑩ くき



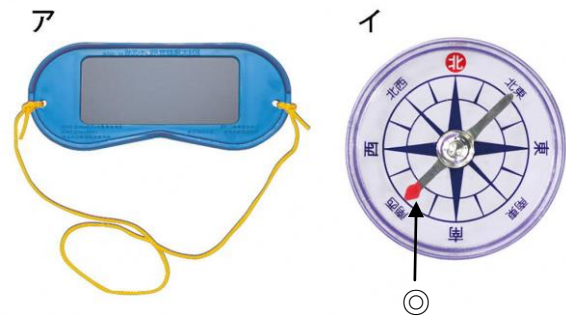
No. 4 太陽と地面の様子 (1)	名前	組 番 /10問
--------------------	----	----------

1 かげのでき方について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 かげは、(①) をさえぎるものがあるとできる。
- 2 かげは、太陽の(②) がわにできる。

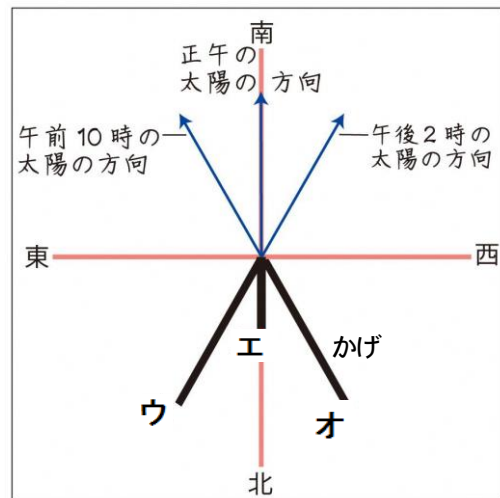
2 太陽の向きを調べる道具や調べ方について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 太陽を見るときに使う、右の図の **ア** を (③) といいます。
- 2 太陽の方位を調べる、右の図の **イ** を (④) といいます。
- 3 右の図の **イ** は、◎のはりの先を文字ばんの (⑤) に合わせて方位を読みとる。



3 かげの動き方について、下の [] のうち正しいものを○でかこみましょう。

- 1 午前10時、正午、午後2時に太陽の方向とかげの向きのかんさつをしました。
 - ・午前10時のかげは、右の図の [⑥ **ウ・エ・オ**] です。
 - ・午後2時のかげは、右の図の [⑦ **ウ・エ・オ**] です。
- 2 太陽の動き方をまとめると、太陽は、
 - [⑧ 東・西・南・北] からのぼり、
 - [⑨ 東・西・南・北] の高い空を通り、
 - [⑩ 東・西・南・北] にしずむ。



時間がたつとかげが動くのは、太陽が動いているからだよ。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉
- 1 ① 日光(太陽の光) ② 反対
 - 2 ③ しゃ光板 ④ 方位じしん ⑤ 北
 - 3 ⑥ **オ** ⑦ **ウ** ⑧ 東 ⑨ 南 ⑩ 西



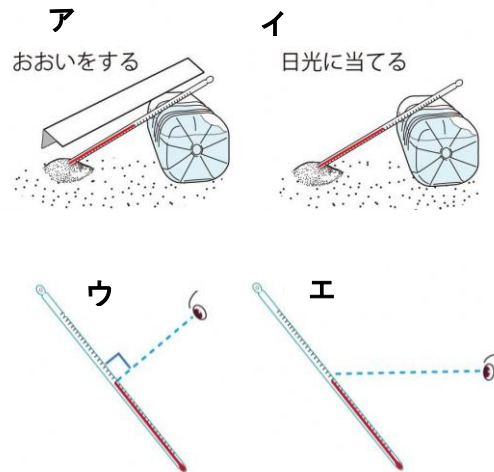
No. 5 太陽と地面の様子 (2)	名前	組 番	/10 問
--------------------	----	-----	-------

1 日なたと日かげについて、次の〔 〕のうち正しいものを○でかこみましょう。

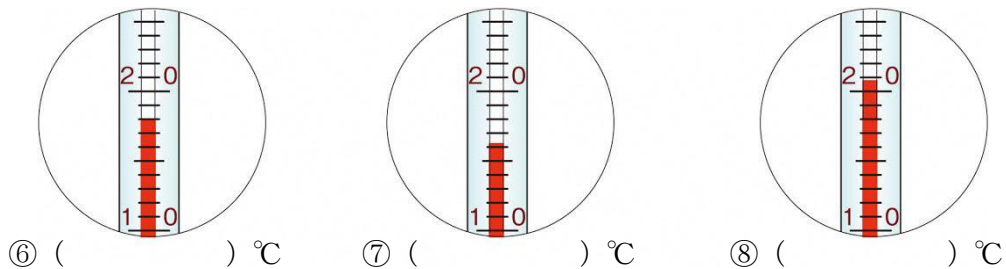
- 地面が^{じめん}あたたかいのは、〔① 日なた ・ 日かげ 〕です。
- 地面にしめり気があるのは、〔② 日なた ・ 日かげ 〕です。

2 地面の^{おんど}温度のはかり方について、次の〔 〕のうち正しいものを○でかこみましょう。

- 地面の温度をはかるとき、土に温度計の〔③ えきだめ ・ 全体 〕をふれさせる。
- 日なたの地面の温度のはかり方は、右の図の〔④ ア ・ イ 〕です。
- 温度計の目もりが正しく読めるのは、右の図の〔⑤ ウ ・ エ 〕です。



3 次の温度計の目もりをそれぞれ読みましょう。



4 日なたと日かげの地面の温度について、次の1は〔 〕のうち正しいものを○でかこみ、2は〔 〕に当てはまる言葉を書きましょう。

- 午前9時と正午に日なたと日かげの地面の温度をはかりました。右の表で、**オ**は(⑨ 日なた ・ 日かげ)の地面の温度を表している。

	午前9時	正午
オ	16°C	18°C
カ	18°C	25°C

- 右の表で、**カ**の地面の温度のほうが高いのは、**カ**の地面が、(⑩)によってあたためられたからです。

温度計を使うと、もののあたたかさがはっきりわかるね。



.....キリトリ.....

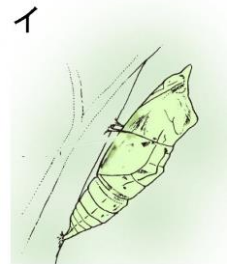
- 〈答え〉 1 ① 日なた ② 日かげ 2 ③ えきだめ ④ **ア** ⑤ **ウ**
 3 ⑥ 18 ⑦ 16 ⑧ 21 4 ⑨ 日かげ ⑩ 日光(太陽の光)



No. 6 こん虫を育てよう (1)	名前	組 番 /10 問
--------------------	----	-----------

1 モンシロチョウの育て方について、次の〔 〕のうち正しいものを○でかこみましょう。

- 右の図の**ア**で、ようきは日光が直せつ
〔① 当たる ・ 当たらない 〕ところにおく。
- 右の図の**ア**で、ろ紙は、
〔② 水でしめらせて ・ かわかして 〕おく。
- よう虫になったら、〔③ 毎日 ・ 1週間ごとに 〕
新しい葉にとりかえる。
- よう虫を動かすときは、
〔④ 葉にのせたまま ・ ゆびでつかんで 〕動かす。
- 右の図の**イ**で、このころになったら、
〔⑤ えさをあたえつづける ・ 何も食べないので動かさない 〕。



2 アゲハチョウの育つじゅんについて、下の () に当てはまる記号や言葉を書きましょう。

ウ (たまご)



エ



オ



カ



- 上の図の**ウ** (たまご) を1番目としたとき、
上の図の (⑥) は2番目で、
上の図の (⑦) は3番目で、
上の図の (⑧) は4番目です。
- 上の図の**エ**のころを (⑨) といいます。
- 上の図の**オ**のころを (⑩) といいます。

チョウは、たまごから育つにしたがって
すがたを大きく変えるね。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉 **1** ① 当たらない ② 水でしめらせて ③ 毎日 ④ 葉にのせたまま
⑤ 何も食べないので動かさない
- 2** ⑥ カ ⑦ オ ⑧ エ ⑨ せい虫 ⑩ さなぎ



No. 7 こん虫を育てよう (2)	名前	組 番 /10問
--------------------	----	----------

1 バッタのせい虫のからだのつくりについて、次の()に当てはまる言葉や数を書きましょう。

1 右の図で、アの部分

(1)) といいます。

2 右の図で、イの部分

(2)) といいます。

3 右の図で、ウの部分

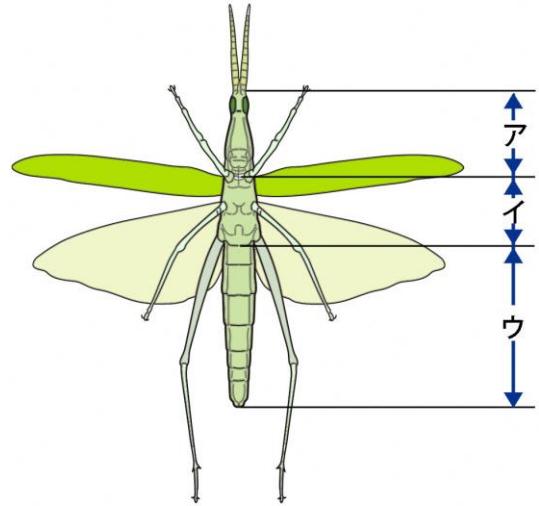
(3)) といいます。

4 右の図で、あしは (4))

の部分に (5)) 本ある。

5 バッタのようなからだのつくりをしたなかまを、

(6)) といいます。

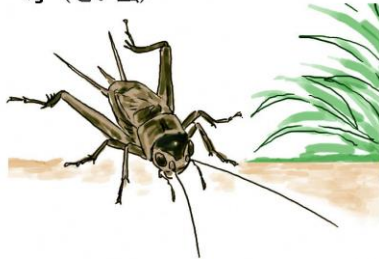


2 コオロギの育つじゅんについて、次の()に当てはまる記号や言葉を書きましょう。

エ (たまご)



オ (せい虫)



カ



1 上の図のエ (たまご) を1番目としたとき、

上の図の (7)) は2番目で、

上の図の (8)) は3番目です。

2 上の図の力のころを (9)) といいます。

3 コオロギの育つじゅんは、モンシロチョウやカブトムシとちがい、

(10)) のころがない。

こん虫の育つじゅんは、完全へんたいと不完全へんたいの2通りあります。



.....キリトリ.....

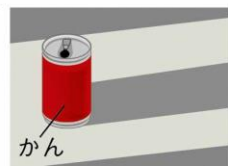
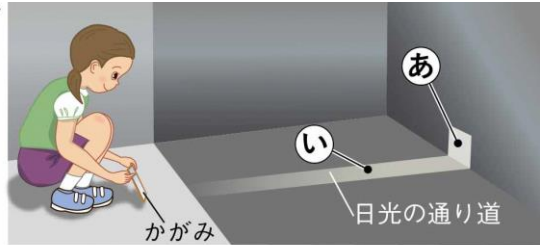
〈答え〉 1 ① 頭 ② むね ③ はら ④ むね ⑤ 6 ⑥ こん虫

2 ⑦ カ ⑧ オ ⑨ よう虫 ⑩ さなぎ

No. 8 光と音のせいしつ (1)	名前	組 番 /10 問
--------------------	----	-----------

1 日光の進み方について、次の [] のうち正しいものを○でかこみましょう。

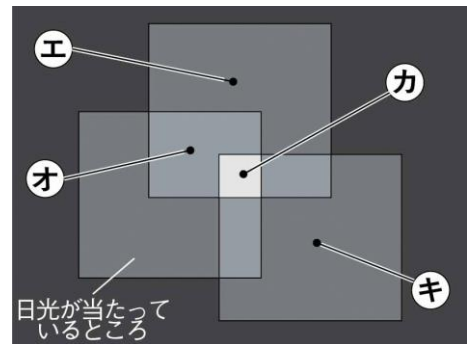
- 右の図の**ア**で、日光が当たった**あ**の部分は
まわりより [① 明るく・暗く] なる。
- 右の図の**ア**で、かがみを動かすと、
あの部分は [② 動く・動かない] 。
- 右の図の**ア**で、いにかんをおくと、かんのかげ
は、右の図の [③ **イ**・ウ] のようになる。
- かがみではね返した日光は、
[④ まっすぐに・曲がりながら] 進む。



2 かがみではね返した日光について、下の [] のうち正しいものを○でかこみましょう。

3まいのかがみではね返した日光を、1つのままとに集め、明るさをくらべました。

- 右の図で、**エ**のところと同じ明るさなのは、
[⑤ **オ**・カ・キ] のところです。
- 右の図で、いちばん明るいのは、
[⑥ **オ**・カ・キ] のところです。
- かがみのまい数が多いほど、日光を1つに集めた
ところの明るさが [⑦ 明るく・暗く] なる。



3 かがみのまい数とまとの温度について、次の [] のうち正しいものを○でかこみましょう。

- かがみではね返した日光を、1つのままとに集め、温度を調べて表にまとめました。

右の表はそのけっかです。

- 右の表で、**ク**の温度は、 [⑧ 30・48] °Cです。
- 右の表で、**ケ**の温度は、 [⑨ 30・48] °Cです。

まとの温度 (日光を3分間当てたときの温度)

かがみのまい数	0まい	1まい	3まい
温 度	19°C	ク	ケ

- かがみのまい数が多いほど、日光を1つに集めた
ところの温度が [⑩ 高く・ひくく] なる。

日光を1つに集めると、明るさやあたたかさがかわるよ。



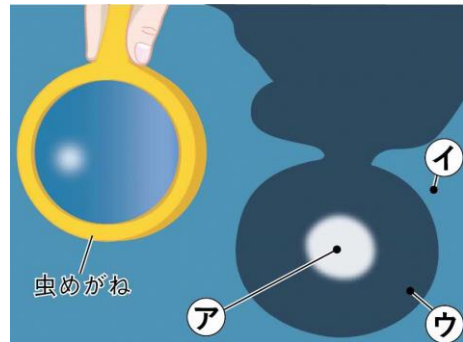
キリトリ

- 〈答え〉
- ① 明るく ② 動く ③ **イ** ④ まっすぐに
 - ⑤ **キ** ⑥ **カ** ⑦ 明るく
 - ⑧ 30 ⑨ 48 ⑩ 高く

No. 9 光と音のせいしつ (2)	名前	組 番 /10 問
--------------------	----	-----------

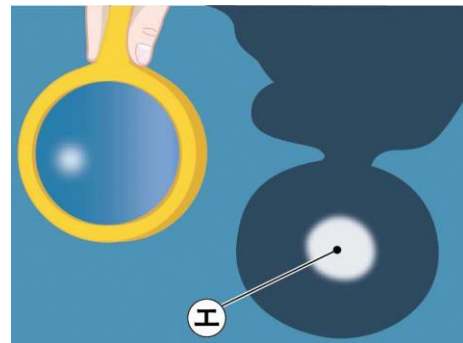
1 光のせいしつについて、次の [] のうち正しいものを○でかこみましょう。

- 右の図で、いちばん明るいのは、
〔① ア・イ・ウ〕の部分です。
- 右の図で、いちばんあたたかいのは、
〔② ア・イ・ウ〕の部分です。



2 光のせいしつについて、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 虫めがねを使うとき、目をいためるので、ぜったいに (③) を見てはいけない。
- 虫めがねを使うと、右の図の工の部分のように、 (④) を集めることができる。
- 虫めがねを動かして、④を集めた右の図の工の部分の大きさを小さくしました。このとき、右の図の工の部分の明るさは (⑤) になり、あたたかさは (⑥) なる。



3 音のせいしつについて、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 右の図のように、たいこをたたくと (⑦) が出る。
- 音が出ているとき、ものはどれも、 (⑧) いる。
- 大きな音が出ているときは、もののふるえは (⑨) になっている。
- 小さな音が出ているときは、もののふるえは (⑩) になっている。



音が出ているものはどうなっているか、かんさつしてみよう。



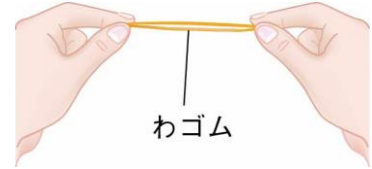
.....キリトリ.....

- 〈答え〉
- ① ア ② ア
 - ③ 太陽 ④ 日光 ⑤ 明るく ⑥ あたたかく
 - ⑦ 音 ⑧ ふるえて ⑨ 大きく ⑩ 小さく

No.10 ゴムのはたらき (1)	名前	組 番	/10問
-------------------	----	-----	------

1 ゴムのはたらきについて、次の〔 〕のうち正しいものを○でかこみましょう。

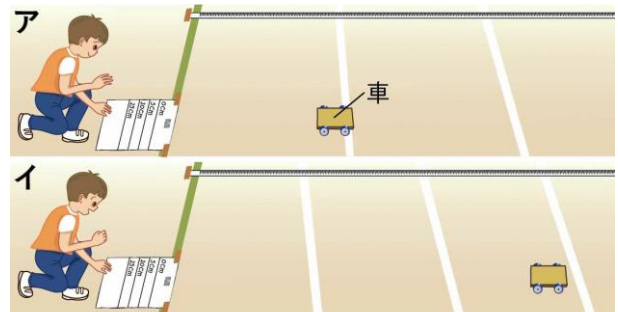
- 右の図のように、わゴムをのばしたとき、手ごたえが強いのは、のばした長さが〔① 長い・短い〕ときです。
- わゴムはのばすと、〔② 元にもどろうとする・のびたまま元にもどらない〕。
- わゴムを長くのばすと、ゴムの元にもどろうとする力は〔③ 強く・弱く〕なる。



2 ゴムの力で動く車について、下の〔 〕のうち正しいものを○でかこみましょう。

右の図のように、1本のわゴムを使って、ゴムの力で動く車を走らせました。

- わゴムを長くのばしたのは、右の図の〔④ ア・イ〕の車です。
- わゴムをのばしたとき、手ごたえが強かったのは、右の図の〔⑤ ア・イ〕の車です。



※車が止まったときの様子です。

- わゴムを長くのばすほど、わゴムが元にもどろうとする力は〔⑥ 強く・弱く〕なり、ゴムの力で動く車が走るきよりは〔⑦ 長く・短く〕なる。

3 ゴムの力で動く車について、下の〔 〕のうち正しいものを○でかこみましょう。

1本のわゴムを使って、ゴムの力で動く車を走らせ、走ったきよりを調べました。右の表はそのけっかです。

- 右の表で、ウのわゴムののびは、〔⑧ 5・15〕cmです。
- 右の表で、エのわゴムののびは、〔⑨ 5・15〕cmです。
- わゴムを〔⑩ 長く・短く〕のばすほど、車が走るきよりは長くなる。

わゴムののび	走ったきより
ウ	2 m 30 cm
10 cm	6 m 60 cm
エ	10 m 90 cm

のばしたゴムは、元にもどろうとします。その力をりようすると、ものを動かすことができます。



.....キリトリ.....

- 〈答え〉
- ① 長い ② 元にもどろうとする ③ 強く
 - ④ イ ⑤ イ ⑥ 強く ⑦ 長く
 - ⑧ 5 ⑨ 15 ⑩ 長く